

令和元年度 決算質疑

住民の立場に立った 町政運営と町財政の 健全化を要望

令和元年度一般会計及び6つの特別会計の歳入歳出決算の質疑では、税金などの滞納処分の在り方や町政運営にかかる経費の見直しなど、議員から様々な意見や要望などが提案されました。
その一部を紹介します。

田んぼアートの継続は

門馬巧議員

田んぼアートについては、令和2年度は実施しませんでした。継続すべきではありませんか。

遠藤 環境防災課長

当時の近代農業ゾーンの水田の再開を記念する田んぼアートと位置づけています。経費の削減等に向けて事業の在り方を精査したうえで継続はしないこととなりました。



令和元年度の田んぼアート

テレワーク事業の見直しを

阿部憲一議員

テレワーク事業費は前年度に受注した仕事は何件ありましたか。また、実績の金額の合計はいくらですか。920万円を要して、実績がないのであれば事業を終了するべきではありませんか。

小松復興企画課長

昨年度の実績では、実際に受注には至りませんでした。テレワークに参加している方のパソコンの講習会を行って、約20人ほどが参加しました。コロナ禍の中で非常に有効な事業になるという期待もあり、町としては再度、事業者に受注の努力を促していきます。



火力発電所の煙突

二酸化炭素の調査と公表を

畑中 大子議員

広野町には火力発電所がありますが、公害対策調査委託事業では二酸化炭素の調査はしているのでしょうか。住民の安心のために、今後調査する計画はありますか。

遠藤 環境防災課長

町内の河川やため池の水質検査や、工場排水の水質検査等を行っている調査で、二酸化炭素の計測は行っていません。

町独自で二酸化炭素の排出量の計測は難しいものがあるかと思いますが、県に相談をします。回答が得られればお示しします。

免許返納タクシー利用券の継続を

門馬 巧議員

高齢者運転免許返納タクシー利用券の利用実績は何人ですか。

遠藤 環境防災課長

平成30年度から開始し、平成30年度が6人、令和元年度が13人、令和2年度は現在4人の方に申請をいただいております。併せて合計23人です。



1枚500円40枚綴り